

米原警察署協議会議事録

開催日時		令和8年2月26日（木）午後4時～午後5時
開催場所		米原警察署会議室
出席者	委員	川瀬秀樹委員（会長）、角田峰治委員（副会長） 馬淵英樹委員、富田正子委員、粕淵かよ委員
	警察	渡口署長、林次長（兼警務課長、警備課長） 中井生活安全課長
議事概要		<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「寒暖差のある時期のため体調を管理し、引き続き治安維持活動に取り組んでいただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「管内の安全・安心のため、引き続き、犯罪抑止対策の取組を強化するため、忌憚のない御意見、御提言をお願いする。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>特殊詐欺について</p> <p>警察から、特殊詐欺発生状況及び抑止対策等について説明がなされた。その際、委員から「特殊詐欺は、アポイント電話等への初期対応によって、被害の有無が分かれる。実際の音声・動画等を用いるなど、事例を踏まえた注意喚起が、抑止対策として効果的である。」旨の意見がなされ、警察から「引き続き、防犯教室・街頭での啓発等を通じ、注意喚起を図っていく。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「+から始まる番号の電話には、引き続き細心の注意を要する。」、「仕事や海外に滞在する親族・知人等との国際電話利用に際しては、詐欺電話との区別が難しいかもしれない。」旨の意見がなされ、警察から「詐欺被害に対する危機意識を高め、不審な電話は無視・着信拒否の対応を推奨する。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「防犯アプリのぼけっとポリスしがにも、警視庁防犯アプリと同様に国際電話ブロック機能を追加できないのか。また、各種機能や情報集約等の面を考慮し、全国警察防犯アプリの一元化が理想である。」旨の意見がなされ、警察から「貴重な意見であり、今後の参考としたい。」旨の説明がなされ</p>

た。

委員から「特殊詐欺等の被害は高齢者に限らず年齢層が幅広くなっているため、低年齢時から被害防止意識の浸透を図ることを目的に合間を縫って、通学用送迎バスなどで被害防止に資する動画視聴も効果的かもしれない。」旨の提言がなされた。